



2024年6月24日

各 位

会 社 名 株式会社ヤシマキザイ
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 高田 一昭
 (コード:7677、東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役 副社長執行役員 関 正一郎
 (TEL. 03-4218-0096)

(再訂正・数値データ再訂正)
 「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部再訂正について

当社は、2024年5月15日に「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」を開示し、2024年6月5日に「(訂正・数値データ)2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)の一部訂正について」で訂正いたしましたが、再度内容の一部に誤りが判明したため、下記のとおりお知らせいたします。

また、数値データ(XBRLデータ)にも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「(訂正・数値データ)2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)の一部訂正について」の開示後に、有価証券報告書の作成過程において、当事業年度のセグメント別業績及びキャッシュ・フロー計算書の記載に誤りがあることが判明いたしました。

セグメント別業績につきましては、鉄道事業と一般事業にかかる販売費及び一般管理費の内訳金額の集計相違によりセグメント利益に誤りがありました。

キャッシュ・フロー計算書につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローとすべき「その他」のキャッシュ・フローが、財務活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含まれていました。なお、当該内容について、連結キャッシュ・フロー計算書を修正しておりますが、2024年3月期の連結貸借対照表及び連結損益計算書並びに連結株主資本等変動計算書への影響はございません。

上記の誤りにつきまして、関連する箇所を訂正いたします。

2. 訂正の内容

訂正箇所は_____を付しております。

○サマリー情報 1ページ

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

【訂正前】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	3,388	△45	△65	10,057
2023年3月期	△1,207	545	△60	6,757

【訂正後】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	3,394	△45	△71	10,057
2023年3月期	△1,207	545	△60	6,757

○添付資料 2ページ

(1) 当期の経営成績の概況

【訂正前】

(鉄道事業)

鉄道車両製品を主な商材として、鉄道事業者及び鉄道関連メーカー等を対象に、鉄道車両用電気用品、同車体用品等を主に取り扱っております。主要顧客である鉄道事業者の業績が増収増益となったことに加え、手配製品の納期長期化や、納入予定時期の延期等により先送りとなっていた鉄道関連メーカー向けの案件が売上計上に至ったこともあり、売上高は底堅く推移しました。

その結果、売上高は25,094百万円(前期比10.9%増)、営業利益は652百万円(前期比304.6%増)となりました。

(一般事業)

当社グループにおいては鉄道事業以外を一般事業としており、取引を行っている業界は、産業機器メーカーや電力用機器メーカー、自動車業界メーカー等と多岐にわたっており、主な商材はコネクタや電子部品であります。自動車業界メーカー等の一部業界では、半導体不足による減産や生産調整は緩和傾向にありますが、当社グループの取引先の多くは、依然として在庫調整局面にあり、コネクタや電子部品の需要が抑えられていることから、売上高は低調に推移しました。

その結果、売上高は2,635百万円(前期比8.8%減)、営業損失は287百万円(前期は95百万円の損失)となりました。

【訂正後】

(鉄道事業)

鉄道車両製品を主な商材として、鉄道事業者及び鉄道関連メーカー等を対象に、鉄道車両用電気用品、同車体用品等を主に取り扱っております。主要顧客である鉄道事業者の業績が増収増益となったことに加え、手配製品の納期長期化や、納入予定時期の延期等により先送りとなっていた鉄道関連メーカー向けの案件が売上計上に至ったこともあり、売上高は底堅く推移しました。

その結果、売上高は25,094百万円(前期比10.9%増)、営業利益は582百万円(前期比261.8%増)となりました。

(一般事業)

当社グループにおいては鉄道事業以外を一般事業としており、取引を行っている業界は、産業機器メーカーや電力用機器メーカー、自動車業界メーカー等と多岐にわたっており、主な商材はコネクタや電子部品であります。自動車業界メーカー等の一部業界では、半導体不足による減産や生産調整は緩和傾向にありますが、当社グループの取引先の多くは、依然として在庫調整局面にあり、コネクタや電子部品の需要が抑えられていることから、売上高は低調に推移しました。

その結果、売上高は2,635百万円(前期比8.8%減)、営業損失は218百万円(前期は95百万円の損失)となりました。

○添付資料 3ページ

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

当連結会計年度のキャッシュ・フローについては、営業活動により3,388百万円増加、投資活動により45百万円減少、財務活動により65百万円減少しました。その結果、現金及び現金同等物は10,057百万円と前連結会計年度と比較して3,299百万円(前年同期比48.8%増)の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローの収入は、3,388百万円(前年同期は1,207百万円の支出)となりました。

これは主に、仕入債務の増加額2,720百万円、営業未収入金の減少額750百万円、税金等調整前当期純利益605百万円、がキャッシュ・フローのプラスとなった一方、営業未払金の減少額538百万円、売上債権の増加額243百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(中略)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローの支出は、65百万円(前年同期は60百万円の支出)となりました。

これは主に、配当金の支払額71百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

【訂正後】

当連結会計年度のキャッシュ・フローについては、営業活動により3,394百万円増加、投資活動により45百万円減少、財務活動により71百万円減少しました。その結果、現金及び現金同等物は10,057百万円と前連結会計年度と比較して3,299百万円(前年同期比48.8%増)の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローの収入は、3,394百万円(前年同期は1,207百万円の支出)となりました。

これは主に、仕入債務の増加額2,720百万円、営業未収入金の減少額750百万円、税金等調整前当期純利益605百万円、がキャッシュ・フローのプラスとなった一方、営業未払金の減少額538百万円、売上債権の増加額243百万円が

キャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(中略)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローの支出は、71百万円（前年同期は60百万円の支出）となりました。

これは、配当金の支払額71百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

○添付資料 9ページ

2. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△201,322	605,108
減価償却費	95,335	79,981
貸倒引当金の増減額(△は減少)	455,049	△93,152
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,681	△1,966
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	500	△2,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,562	37,322
受取利息及び受取配当金	△43,912	△42,234
支払利息	24	18
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,968	—
売上債権の増減額(△は増加)	970,434	△243,606
営業未収入金の増減額(△は増加)	△222,731	750,651
棚卸資産の増減額(△は増加)	568,863	△6,319
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,742,221	2,720,281
営業未払金の増減額(△は減少)	207,582	△538,008
未払金の増減額(△は減少)	△8,804	116,931
契約負債の増減額(△は減少)	△576,152	81,712
未収入金の増減額(△は増加)	△434,843	86,006
未払消費税等の増減額(△は減少)	42,261	△19,286
その他	△140,992	△151,696
小計	△1,059,143	3,379,739
利息及び配当金の受取額	43,912	42,234
利息の支払額	△24	△18
法人税等の支払額	△191,870	△33,559
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,207,125	3,388,396
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	100,000	—
投資不動産の賃貸による収入	59,806	57,870
投資不動産の賃貸による支出	△21,364	△5,580
有価証券の償還による収入	500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△9,216	△5,251
無形固定資産の取得による支出	△11,171	△44,938
投資有価証券の取得による支出	△8,318	△8,823
投資有価証券の売却による収入	11,874	15
関係会社株式の取得による支出	△7,560	—
その他	31,317	△38,888
投資活動によるキャッシュ・フロー	545,368	△45,597
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△71,179	△71,476
その他	10,719	6,339
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,459	△65,136
現金及び現金同等物に係る換算差額	58,326	21,755
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△663,891	3,299,419
現金及び現金同等物の期首残高	7,421,834	6,757,943
現金及び現金同等物の期末残高	6,757,943	10,057,362

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△201,322	605,108
減価償却費	95,335	79,981
貸倒引当金の増減額(△は減少)	455,049	△93,152
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,681	△1,966
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	500	△2,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,562	37,322
受取利息及び受取配当金	△43,912	△42,234
支払利息	24	18
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,968	—
売上債権の増減額(△は増加)	970,434	△243,606
営業未収入金の増減額(△は増加)	△222,731	750,651
棚卸資産の増減額(△は増加)	568,863	△6,319
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,742,221	2,720,281
営業未払金の増減額(△は減少)	207,582	△538,008
未払金の増減額(△は減少)	△8,804	116,931
契約負債の増減額(△は減少)	△576,152	81,712
未収入金の増減額(△は増加)	△434,843	86,006
未払消費税等の増減額(△は減少)	42,261	△19,286
その他	△140,992	△145,357
小計	△1,059,143	3,386,079
利息及び配当金の受取額	43,912	42,234
利息の支払額	△24	△18
法人税等の支払額	△191,870	△33,559
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,207,125	3,394,736
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	100,000	—
投資不動産の賃貸による収入	59,806	57,870
投資不動産の賃貸による支出	△21,364	△5,580
有価証券の償還による収入	500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△9,216	△5,251
無形固定資産の取得による支出	△11,171	△44,938
投資有価証券の取得による支出	△8,318	△8,823
投資有価証券の売却による収入	11,874	15
関係会社株式の取得による支出	△7,560	—
その他	31,317	△38,888
投資活動によるキャッシュ・フロー	545,368	△45,597
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△71,179	△71,476
その他	10,719	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,459	△71,476
現金及び現金同等物に係る換算差額	58,326	21,755
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△663,891	3,299,419
現金及び現金同等物の期首残高	7,421,834	6,757,943
現金及び現金同等物の期末残高	6,757,943	10,057,362

○添付資料 11ページ

2. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

【訂正前】

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,094,492	2,635,367	27,729,860	—	27,729,860
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,094,492	2,635,367	27,729,860	—	27,729,860
セグメント利益又は損失(△)	<u>652,003</u>	<u>△287,144</u>	364,859	—	364,859
セグメント資産	15,500,087	1,657,584	17,157,672	7,908,330	25,066,003
その他の項目					
減価償却費	65,878	9,351	75,229	4,751	79,981
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	43,951	6,238	50,190	200	50,390

(注) 1. セグメント資産の調整額は、当社での余資運用資金(有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)、配賦不能である未収入金、投資不動産及び管理部門に係る資産等であります。

2. 減価償却費の4,751千円は、投資不動産に係る減価償却費であります。

【訂正後】

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,094,492	2,635,367	27,729,860	—	27,729,860
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,094,492	2,635,367	27,729,860	—	27,729,860
セグメント利益又は損失(△)	<u>582,999</u>	<u>△218,140</u>	364,859	—	364,859
セグメント資産	15,500,087	1,657,584	17,157,672	7,908,330	25,066,003
その他の項目					
減価償却費	65,878	9,351	75,229	4,751	79,981
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	43,951	6,238	50,190	200	50,390

(注) 1. セグメント資産の調整額は、当社での余資運用資金(有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)、配賦不能である未収入金、投資不動産及び管理部門に係る資産等であります。

2. 減価償却費の4,751千円は、投資不動産に係る減価償却費であります。

以 上